



学 校 便 り

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashidai/>

5月号

横浜市立東台小学校

電話 (571) 0812

令和2年5月7日

自分の考え

副校長 高山 和宣

新型コロナウイルス感染症に対する対応のために、通常の学校活動である学習も生活も行うこともできず、子どもたちやご家庭の皆様にもたくさんのご協力をお願いし深く感謝するばかりです。学校では、一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束することを願い、感染予防に取り組みながら、粛々とできることを進めて行きたいと考えています。

コロナウィルスの世界的な感染拡大により不安なことが多くなると同時に、身近な家庭生活の中でも、時間の使い方や買い物などの方法等どのように行動したらよいかと迷ったり惑わされたりすることも多くなった気がします。少し前にティッシュペーパーやトイレットペーパーの買い占めによって店頭が品薄になったことがありました。

林 木林さんと庄野 ナホコさんが書いた「二番目の悪者」という本に次のようなお話があります。

国の王になりたい金色ライオンは、自分こそが王にふさわしいと思っていました。ところが、次の王様候補は街はずれに住んでいた優しい銀色ライオンであると知りました。そこで金色ライオンは、親切的な銀色ライオンの嘘の悪い噂を村の住人にふれ回りました。村の住人は誰一人その噂の出所や真実を調べず、みんなが言っているのだから本当のことだろうと信じ込みました。その後金色ライオンが王様となりますが、国は大変なことになってしまいました。動物の国の架空のお話ですが、現実の世界ではどうでしょうか。真実を確かめること、自分でしっかりと考えることはとても大切なことです。

これは、学校での学習や生活についても言えます。教師の与える知識や情報を受け入れるだけの学習や教師に誘導されるまま進める学習では自ら考える力や学習への真の喜びは得られません。また、生活についても清掃や飼育・栽培などの仕事でも「それはだめ。言われた通りにやりなさい。」という指示通りに動く操り人形のようなのでは、意欲はまったく沸きませんし能力も当然育ちません。

コロナウィルスの影響で出だしが遅れてしまいましたが、本年度は新学習指導要領の完全実施となります。新しい学習指導要領でも、子どもが自ら学び考える力を培うこと、「生きる力」を育むことが改めて大きく謳われています。

本年度も学校教育目標である「光の子」の具現化を目指し、教職員のチーム力を高めながら、子ども自身が自分で考え、真理を求め、目標を見失わずに進む力を育てて行きたいと思えます。